

小牧市中小企業産学連携・企業間連携事業計画書

1 共同開発概要

構成者名等	負担金額	負担割合	役割
(申請者) 名称 <b>〇〇工業(株)</b> 所在 <b>小牧市堀の内〇丁目×番地</b>	〇,〇〇〇,〇〇〇円	1/2	<b>〇〇技術の提供</b>
(共同開発者) 名称 <b>〇〇製作所(株)</b> 所在 <b>〇〇市△△町〇丁目×番地</b>	〇〇〇,〇〇〇円	1/2	<b>〇〇技術を活用した装置の設計及び組立</b>
合計	〇,〇〇〇,〇〇〇円	1	

2 事業内容

事業計画名	<b>〇〇技術を用いた△△△装置の開発</b>
実施場所	<b>〇〇工業研究室 他</b>
新サービス・新製品等の開発に該当する分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 新サービスの開発</li> <li><b>イ</b> 新製品の開発</li> <li>ウ 新物質、新素材若しくは新材料の開発又は利用技術の確立</li> <li>エ 新システム又は新工法の技術の開発</li> <li>オ 生産、加工若しくは処理のための新技術・新工法の開発</li> <li>カ その他産業社会の発展に寄与すると市長が認めたもの</li> </ul>
事業目的	<b>〇〇工業と〇〇製作所の共同開発による〇〇技術を用いた△△△装置の開発及び商品化</b>
事業内容	<b>〇〇工業が開発した〇〇技術を用いた△△△装置を新製品として商品化するにあたり、□□の技術が必要であることから、〇〇製作所と共同でプロジェクトチームを作り△△△装置の商品化を進める。</b>
新規性について	<b>〇〇技術は、従来の技術に比べ、〇〇が優れており、本技術を用いた△△△装置を開発すれば大きな市場ニーズも見込まれます。</b>
共同開発を行う理由	<b>〇〇工業は、〇〇技術を開発しましたが、それを商品化し、販売するためには、〇〇製作所の持つ、設計技術と販売ルートを活用することが必要であり、両者にとってメリットがあるため。</b>

